

心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションの対象疾患

- 1 急性心筋梗塞や狭心症
- 2 慢性心不全
- 3 閉塞性動脈硬化症
- 4 心臓大血管手術(開心術)後 など

心臓リハビリテーションの効果

心臓リハビリテーションにより、心肺機能の改善により運動能力が増加し、心不全や狭心症、閉塞性動脈硬化症の症状が改善するといった身体的効果が期待されています。また、不安やうつ状態の改善、再発予防や突然死の予防により生命予後も改善することが学術的に証明されています。

理学療法士（4名 内：心臓リハビリテーション指導士1名）、作業療法士（2名）で、入院から外来まで一貫したリハビリテーションを提供しております。

運動療法

歩行練習や自転車こぎをはじめとした有酸素運動や、筋力トレーニングを行います。症状が安定し主治医の指示のもと、が得られた時点で開始し、患者さん個々の症状や生活環境に応じて適切な種目や強度を決定していきます。

